



県内 Stage 2 実施中！ 新型コロナウイルス感染症

令和3年2月10日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和3年第5週分・2月1日～2月7日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、2月7日時点で404,990例となり、6,395例の死亡が確認されています。現在の新規感染者数は減少傾向（図；折れ線グラフ）ですが、依然として重症者数、死亡者数は高い水準にあります。このため、政府は10都府県を対象として、3月7日まで緊急事態宣言を延長しています。

県内では、今週新たに9例の新規感染者が報告され、2月7日時点の累積感染者数は881例になりました。

現在は、新規感染者数は減少傾向（図；棒グラフ）ですが、まだ油断は禁物です。また、医療提供体制等を考慮すると警戒のレベルを引き下げる状況には至っていません。このため、富山県では2月1日より、Stage 2の措置を一部改定し、夜間の不要不急の外出や繁華街の接待を伴う飲食店等の利用の自粛、感染拡大地域との移動の自粛、テレワークの推進等が県民に要請されています。また、県内の感染者の半数以上が40歳未満の若い世代であることから、同世代の無症状者か軽症者が気がつかないうちに感染を拡大する可能性について注意が必要です。

引き続き感染拡大を防ぐため、①「新しい生活様式」の徹底、②感染リスクの高い5つの場面（1. 飲酒を伴う懇親会等、2. 大人数や長時間に及ぶ飲食、3. マスクなしでの会話、4. 寮などの狭い空間での共同生活、5. 休憩室、喫煙所など居場所の切り替わり）の回避、③家庭内でもマスクを着用するなど、個々人の感染予防行動を徹底することが必要です。

発熱等の症状があり医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター（厚生センター、保健所等）にご連絡ください。

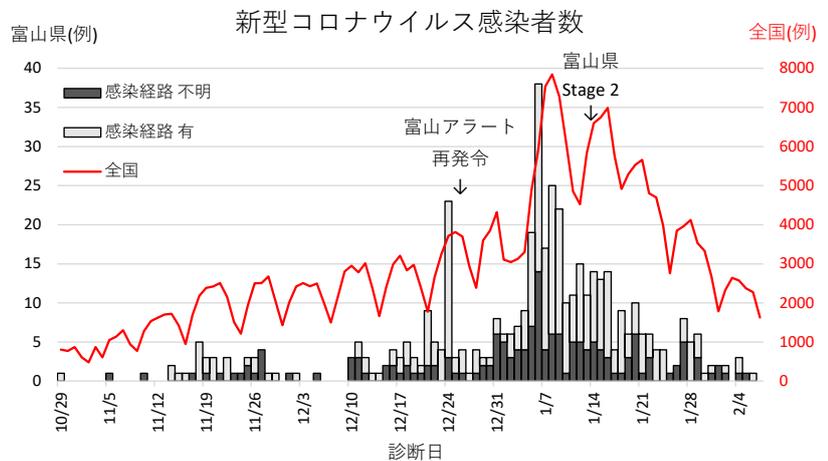
《全数報告の感染症》

- 指定感染症 新型コロナウイルス感染症 9件
二類感染症 結核 7件（①第2週診断分：60歳代、男性 ②第3週診断分：80歳代、男性
③第4週診断分：80歳代、女性 ④60歳代、女性 ⑤70歳代、男性
⑥80歳代、男性 ⑦80歳代、女性）

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週（増減）	先週
1位	感染性胃腸炎	2.48（↑）	1.97
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.45（↑）	0.66
3位	咽頭結膜熱	0.34（↑）	0.31
4位	突発性発しん	0.21（↓）	0.38
5位	水痘	0.17（↑）	0.03
6位	ヘルパンギーナ	0.07（↑）	0.00

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>



○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第5週 令和3年2月1日～令和3年2月7日）

分類	疾患	今週報告分（第5週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	1	4	4			9	13	46	50	9	183	301
二類感染症	結核	1	1			2	4	2	1	4		4	11
四類感染症	E型肝炎											1	1
	レジオネラ症											1	1
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1		1
	侵襲性肺炎球菌感染症									1		2	3
	水痘（入院例）											1	1
	梅毒								1	1			2
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ			2			2			3			3
				0.15			0.04						
	RSウイルス感染症					1	1					3	3
						0.10	0.03						
	咽頭結膜熱	1	4	2		3	10	8	6	29	1	10	54
		0.25	1.33	0.25		0.30	0.34						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	2	32		7	42	5	7	61	9	26	108
		0.25	0.67	4.00		0.70	1.45						
	感染性胃腸炎	19	7	33	6	7	72	85	42	64	8	61	260
		4.75	2.33	4.13	1.50	0.70	2.48						
	水痘			4	1		5	1	3	5	2	3	14
				0.50	0.25		0.17						
	手足口病									1	1	1	3
	伝染性紅斑									2		2	4
突発性発しん	1	1	1	1	2	6	6	3	17	5	19	50	
	0.25	0.33	0.13	0.25	0.20	0.21							
ヘルパンギーナ	2					2	5					5	
	0.50					0.07							
流行性耳下腺炎					1	1			3		2	5	
					0.10	0.03							
流行性角結膜炎									1			1	
無菌性髄膜炎											1	1	
マイコプラズマ肺炎									1	3			4
インフルエンザによる入院患者（*）											2		2

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

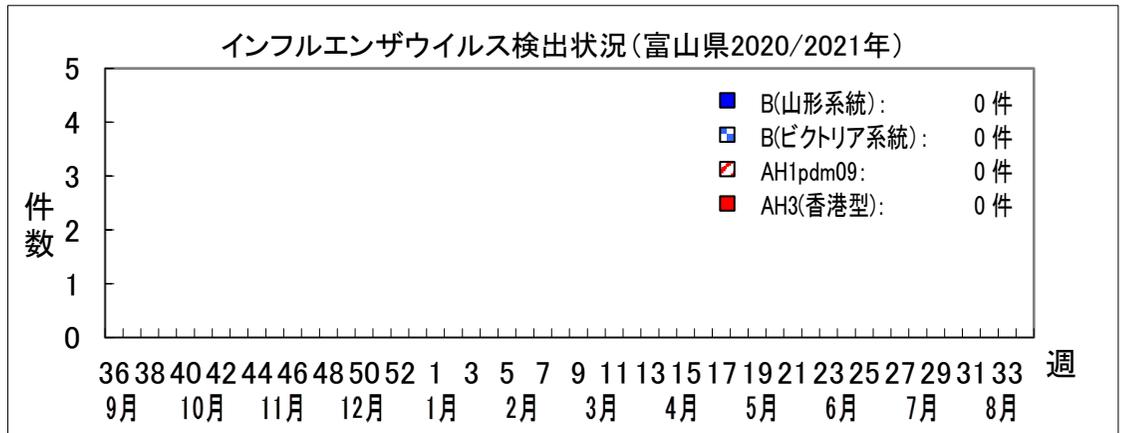
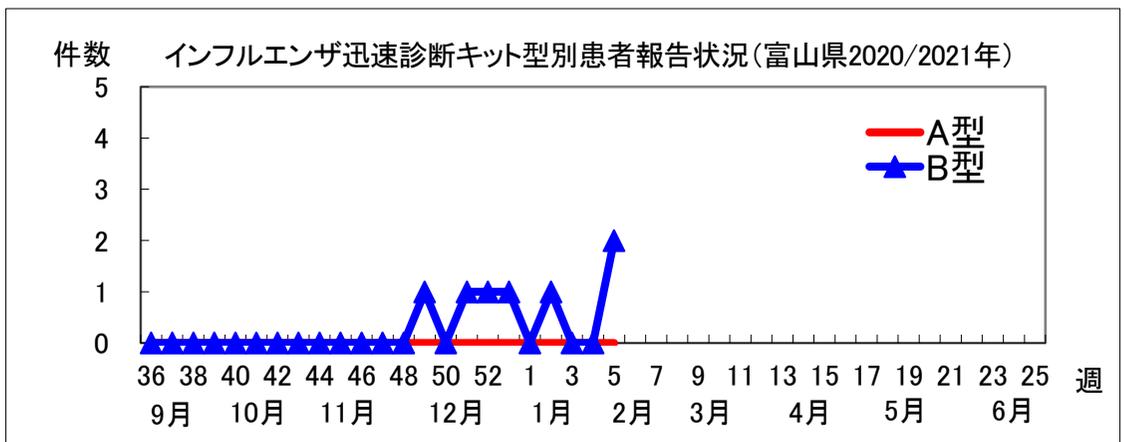
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、B型が100.0%となっています。

第5週(2/1~2/7)：富山県 0.04人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	0 / 7	0	0	0	0
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	1 / 13	0	2	0	2
砺波	0 / 7	0	0	0	0
富山市	0 / 16	0	0	0	0
富山県	1 / 48 ^{※1}	0	2	0	2
富山県累計(2020年36週~)		0	7	1	8

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が1か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



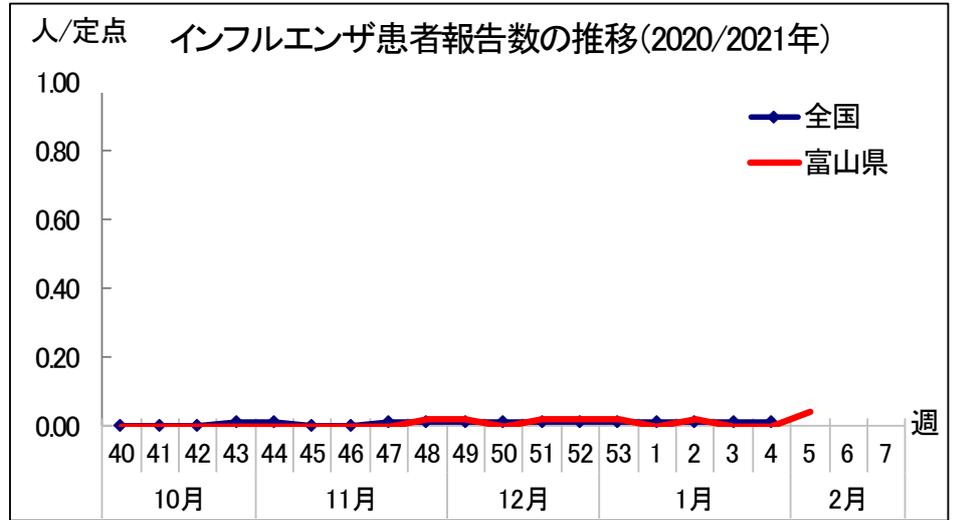


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第5週 (2/1~2/7) : 富山県 0.04 人/定点

新川 HC (0.00)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (0.15)、砺波 HC (0.00)、富山市 HC (0.00)

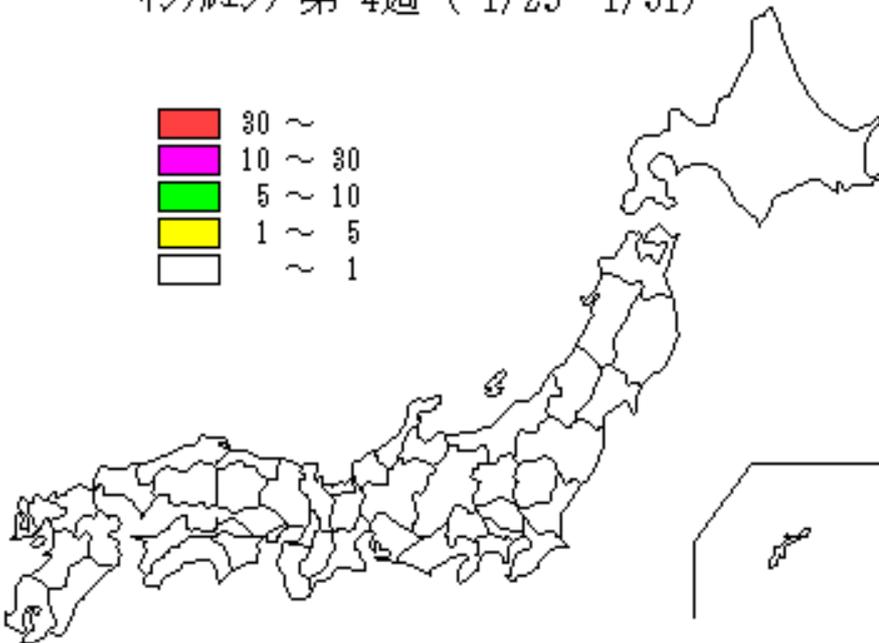
全国・富山県共にインフルエンザ患者報告数は少ない状態が続いています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第4週 (1/25~1/31)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.01 人です。

インフルエンザ第4週 (1/25- 1/31)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.00	滋賀県	0.07
青森県	0.02	京都府	0.08
岩手県	0.00	大阪府	0.01
宮城県	0.00	兵庫県	0.01
秋田県	0.00	奈良県	0.00
山形県	0.07	和歌山県	0.00
福島県	0.02	鳥取県	0.00
茨城県	0.03	島根県	0.08
栃木県	0.00	岡山県	0.11
群馬県	0.00	広島県	0.02
埼玉県	0.00	山口県	0.00
千葉県	0.01	徳島県	0.00
東京都	0.01	香川県	0.00
神奈川県	0.00	愛媛県	0.00
新潟県	0.03	高知県	0.00
富山県	0.00	福岡県	0.00
石川県	0.00	佐賀県	0.00
福井県	0.00	長崎県	0.00
山梨県	0.00	熊本県	0.00
長野県	0.01	大分県	0.00
岐阜県	0.00	宮崎県	0.00
静岡県	0.01	鹿児島県	0.01
愛知県	0.01	沖縄県	0.00
三重県	0.10	全国	0.01